

くろつち便り

内容：再稼働—不当決定／くろつち会総会案内
かごつま弁 No.51 / NPOふれあい鹿屋
共に歩む会—会費のお願い

川内原発再稼働差し止め仮処分申請、地裁不当決定

22日午前10時、地域の報道番組を期待を込めて見守った方も多かっただろうと思います。(写真は、NHKの昼のニュースから)

しかし残念ながら、川内原発の再稼働差し止め仮処分の申請に対して、鹿児島地裁の決定は、全くの不当判決でした。去る14日の福井地裁の決定とは、全く異なる決定です。

これも想定内だということを考えれば、これにめげることなく運動を進めたいです。(文責 樋園)

福井地裁の決定の要旨の要旨を蛇足ながら列挙してみます。

①基準地震動(高浜の場合は700ガル,川内は620ガル)を越える地震は、過去10年間で5回も起きている。基準は過去の平均値をもとに割り出して

いて非合理的だ。

②根本的な補強工事がなされないまま、安全とされる数値だけが当初の370から700へ引き上げられている。

③日本国内に地震の空白地帯は存在しない。

④深刻な事態は起きないだろうという見通しのもとにかような対応が成り立っている。

⑤新規制基準は上記の通り緩やかすぎ、合理性を欠く。

⑥住民らは取り返しの付かない損害を被る恐れが生じる。

お礼 会費 今年もよろしくおねがいします 共に歩む会 松下徳二

ありがとうございました。2014年度「共に歩む会」会費、くろつち会員からは80人の方々からいただきました。

最近では高年齢化、活動のマンネリ化などもあってか、会員も会費納入者も減る一方ですが、昨年度くろつち会員からの会費納入は久しぶりに80人に達しました。ありがとうございました。おかげさまでなんとか予算執行ができました。

共に歩む会発足は1998年、会の中心会員はほとんどくろつち会員でした。以来18年間、千円の年会費をいただき続け、そのおかげさまで、ささやかですが、活

動を続けることができています。合計すると大変な額です。ほんとうにありがとうございます。

ただ、もうしばらくは活動を継続します。年金減額等のことは十分理解していますが、何卒今年もまたよろしくお願ひ致します。1年間千円です。総会の日に入金くださるとありがたいです。総会に出られない方は連絡員の方々にお願ひしてください。

大変でしょうが、よろしくお願ひいたします。

くろつち会総会

日時 5月17日(日) 10:30~

(受付 10:00~10:30)

会場 千成本店

歓迎会 12:00~ 会費 3,000円 閉会 15:00

★ 申し込み・・・別紙案内状の申し込み用紙

★ 新加入(3月末現在)・・・森山憲一さん・川井田美智子さん・立切敏幸さん

卒業おめでとう

3月20日、「ささえあい鹿屋」で学んできた4人の卒業を祝って、

茶話会がありました。

会の運営は在校生でした。

始まる前に在校生が別室に行ったきり、一向に帰ってこない。しびれを切らしていると「先生達もちょっと来て」というので和室に行ってみると、何と、色紙を準備していたのでした。

右上の写真は、左側の在校生が、卒業証書代わりに、右側の卒業生に色紙を贈ろうとしている場面です。味のある茶話会を運営してくれました。

よくこの子たちに「とても不登校とは思えないよ」と言ってるんですが、ここではみんな明るく澁刺としています。

(みんなが頑張っている姿を「くろつち便り」で紹介したいから、写真撮っていい？とことわってから写真を撮っています。)



かごつま弁単語帳

51回 坂田 勝

鹿児島弁単語（薩隅方言）を五十音順にシリーズで連載しています。

○よだき：大儀な。古語「ヨダケシ」から。何かをしなければならぬという気持ちは十分あるのだが、やる気が起きない。できればしないで済ませたい。宮崎や大分ではよく使われる単語だが大隅地方でも使われる。

このことばは古く平安時代の「源氏物語」にも出てくる「よだけし」という語が少し形を変えて今なお使われ続けているもので、1000年も前のことばが現代の方言に残っていることばのひとつである。「こもり待れば、よろずうひうひしう、よだけしゅうなりにて待り」（源氏物語）。訳「(家に)こもっておりますので、何につけても慣れないので、(よそへでることが)おっくうになってしまいます」。「こ



げんいっぺ宿題が出っ土日もつぶるい。ヨダキなあ（こんなにたくさん宿題が出て、土日もつぶれる。おっくうだなあ）。大隅肝属郡方言集には「ヨダキ（いやがる、ものぐさな。うるさがる）」とある。

○よっか（ん）：よしか。「わがやんこめんめしヨッカ たにんのあわんめし」（わが家ん米ん飯よっか他人の粟ん飯）。よそのものや、よそでいただくものは米の飯に限らず、何でも珍しくおいしいのである。人間、慣れっこになってしまえば、すべて飽いてしまうものだ。

「馬よっか鞍」馬を上手に乗りこなすには、よい馬を選ぶことも大切であるが、それよりも大事なものは、馬と乗り手の体に合ったよい鞍を選ぶことが大切だという意



味のことわざ。

- よぼし：とさか。「ヨボシュ、かん切られた」（徹底的惨敗）。
- よま：紐。「ゆっさっのヨマ」（青桐の皮を水につけて取った繊維製の綱）。
- よめじょ：嫁。「ヨメジョときっ」（とうもろこし）。
- よろっで：皆で。共同で。「ヨロツデあそぼや」（一緒に遊ぼう）。
- よんごひんご：ちぐはぐ。ヨンゴは横の訛り。ヒンゴは強意の接尾語。「こんみちゃヨンゴヒンゴしちよらい」（この道はくねくね曲がっている）。
- わい：「お前」という意の対等の二人称代名詞。相手を軽蔑した卑称で丁寧語は「おはん」、さらに尊敬の意をこめたら「オマンサア」になる。自称代名詞には「オイ」と「アタイ」があり、後者の方が丁寧な言い方である。

お知らせ 総会(5月17日)で詳しい説明があると思いますが、支部の形態が変わります。支部専従書記が曾於に移ったためです。肝属支部に用事があるときは、前もって連絡を取ってから訪ねるようにした方が無難です。